

【問い合わせ先】

石垣海上保安部交通課

課長 大城 幸喜

電話 0980-82-4842（内線 5091）



令和 7 年 2 月 7 日

石垣海上保安部

令和6年石垣管内における海難発生状況(速報値)

～ 過去5年間で最多の事故が5つ ～

- 船舶海難 20隻（前年比＋6隻）、死者・行方不明者 0人（前年比－7人）
 - 船舶海難数が令和4年と同数で最多
 - 運航不能による事故が8隻となり、令和5年と同数で最多
- マリンレジャー中の事故者 16人（前年比－5人）、死者・行方不明者 4人（前年比－4人）
 - 遊泳中（スノーケリング）の事故者は8人で、令和4年と同数で過去最多
 - 遊泳中（スノーケリング以外）の事故者は3人で過去最多
 - 外国人の事故者3人は過去5年で最多

事故の特徴等

【船舶海難】

- 事故船舶は、プレジャーボート（6隻）と漁船（5隻）で半数以上を占めている。
- 事故原因で最も多いのは運航不能で、内訳は無人漂流が3隻（係留不備による漂流が2隻）と最も多く海中転落1隻による漂流が発生している。

【マリンレジャー中の事故】

- 遊泳中（スノーケリング）の事故の約8割が自然海岸で発生しており、事故原因は溺水や帰還不能によるもので、事故者の9割がライフジャケット非着用であった。
- 遊泳中（スノーケリング以外）の事故者の約7割が70代以上の観光客であり、事故原因の殆どが海水誤飲による溺水である。

今後の安全啓発活動

石垣海上保安部では、引き続き関係機関等と連携して安全啓発活動を実施します。

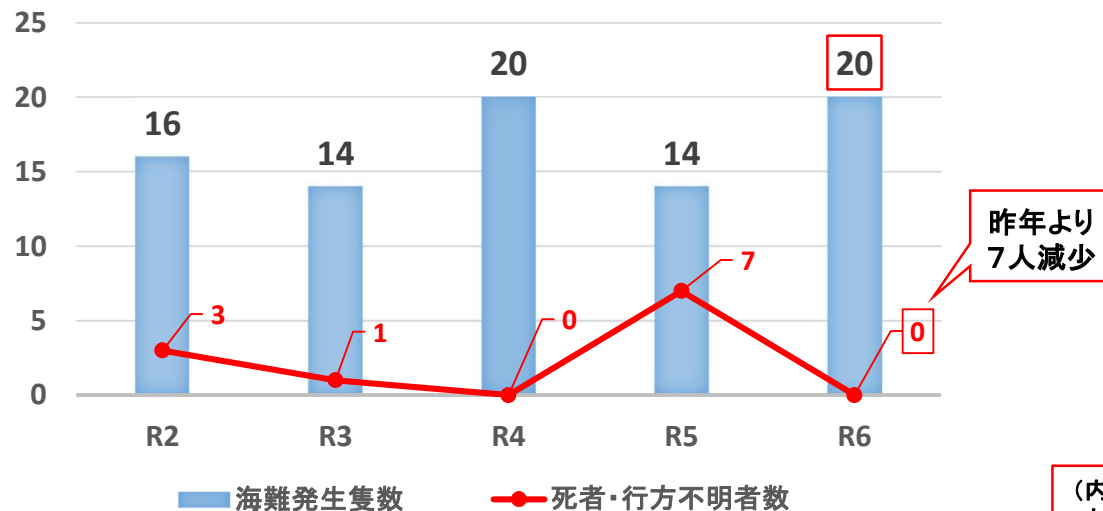
【船舶海難の防止】

- 船舶所有者等に対する船舶管理の徹底及び整備事業者による定期的な点検整備の推奨のほか、ライフジャケット着用徹底などの安全啓発（漁港、マリーナ等）

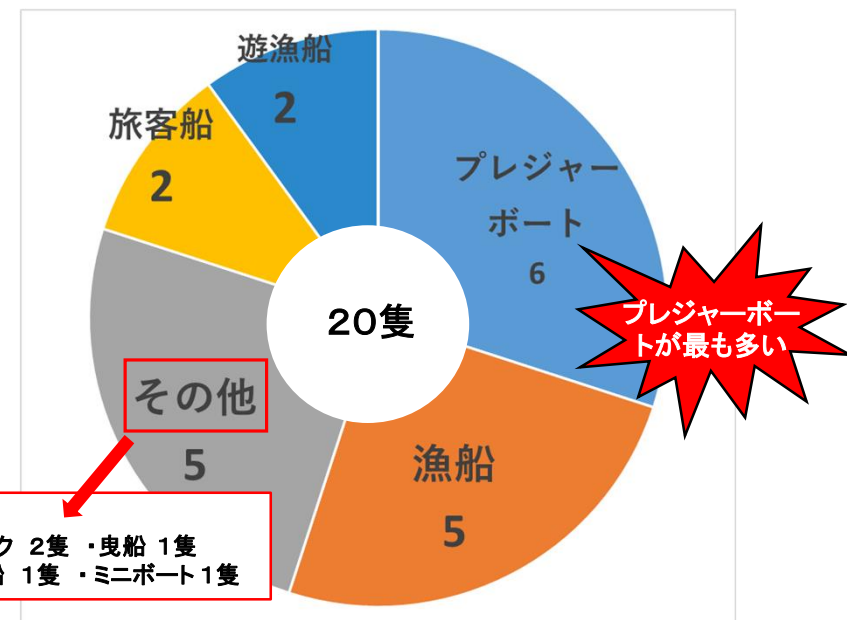
【マリンレジャー中の事故の防止】

- 観光客（外国人含む。）に対する体調管理及び気象海象の確認スノーケリングの基本4点セット（ライフジャケット、マスク、スノーケル、フィン）装着の推奨などの安全啓発（海水浴場、自然海岸、フェリーターミナル等）

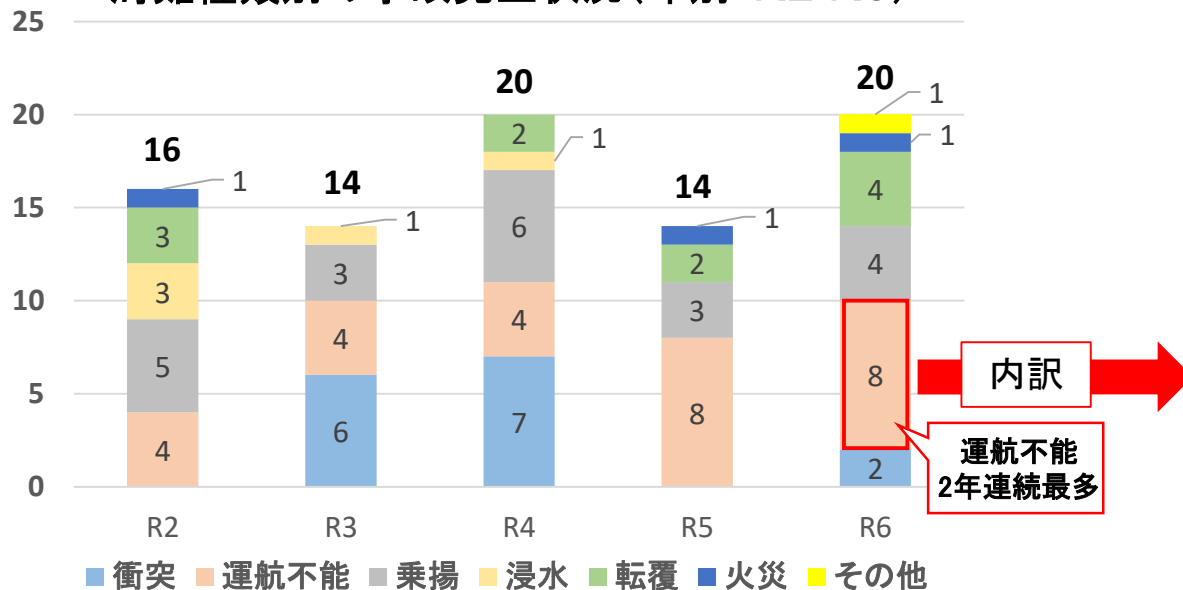
海難発生状況（年別・R2-R6）



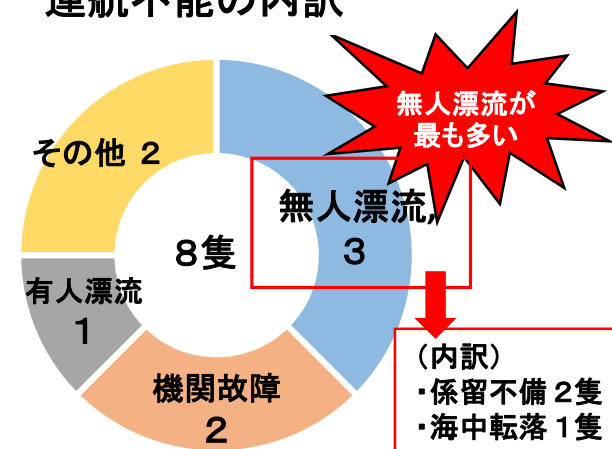
船種別の事故発生状況



海難種類別の事故発生状況（年別・R2-R6）

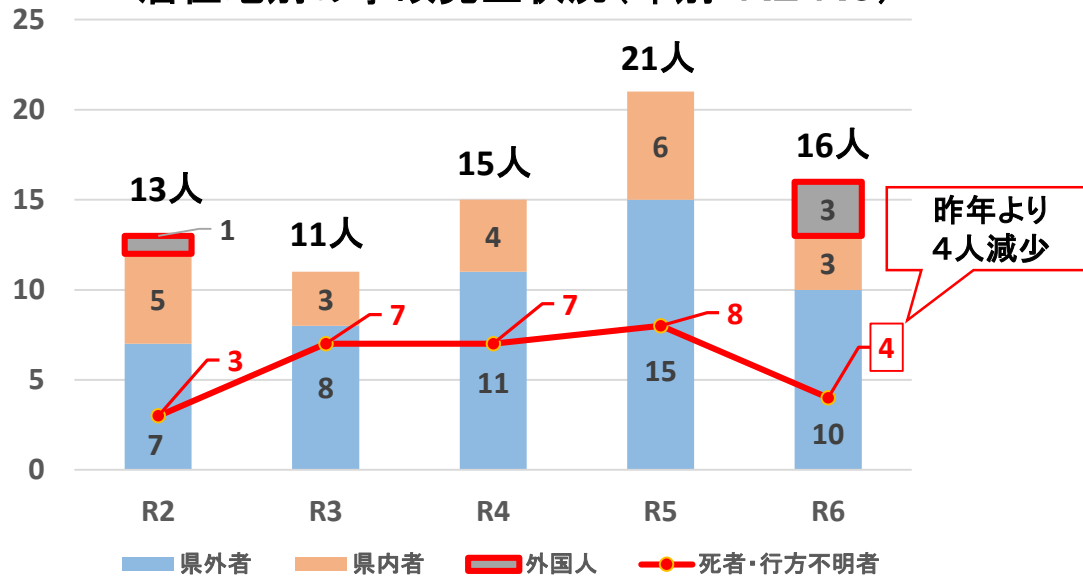


運航不能の内訳

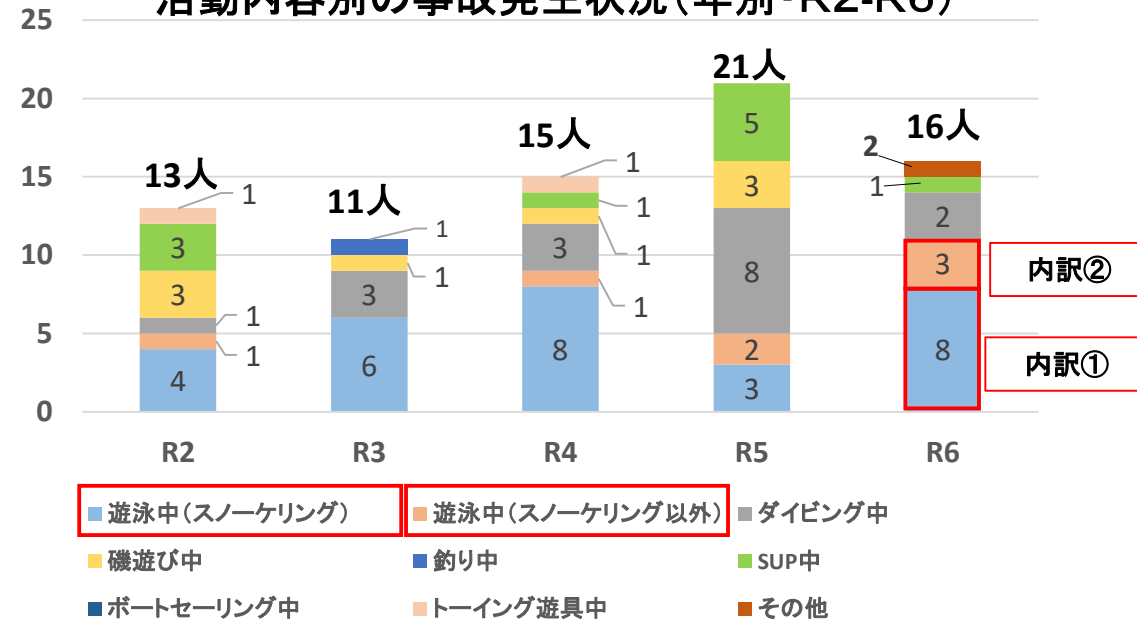


マリレジャー中の事故発生状況(速報値)

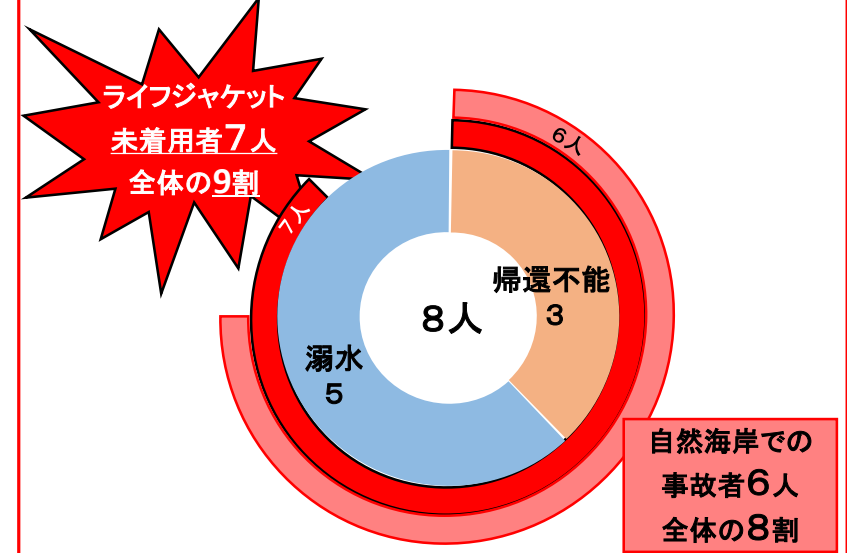
居住地別の事故発生状況(年別・R2-R6)



活動内容別の事故発生状況(年別・R2-R6)



内訳① 遊泳中(スノーケリング)事故者の原因別



内訳② 遊泳中(スノーケリング以外)事故者の年代別

